

健康づくりの公衆衛生的アプローチ

参加
無料

データが語る健康づくり！公衆衛生の最前線から学ぶ



取手市出身で在住の、こども家庭庁の現役の課長の木庭愛氏のお話です。

茨城県保健福祉部長として、県の新型コロナウイルス感染症対策を前線で指揮を執られた経験から、茨城の健康・保健の課題について、また、4月に発足したこども家庭庁で進める施策等についてお話いただきます。

内容

健康を維持・向上させるため、社会全体で取り組む活動や政策について、県の健康・保健に関する課題をどのように取り組んできたのか。公衆衛生行政の紹介とデータからみた健康づくりの重要性について概説します。また、高齢化社会を支える地域包括ケアシステムや、昨今注目されている次世代を担うこどもを地域で支える子育て支援に関して、国や県の取組を紹介します。

講師

木庭 愛 氏

こども家庭庁成育局
母子保健課長

【プロフィール】

取手市出身。医師免許を取得。病院勤務（内科）ののち、厚生労働省に医系技官として入省。厚生労働省で、感染症対策、食品安全、移植医療対策等に従事、そのほかに世界保健機関（WHO）、茨城県保健福祉部長を経て、令和5年7月より現職。

日時

令和5年9月26日（火）

午後1時～午後3時
（受付は正午から）

会場

取手ウェルネスプラザ
（多目的ホール）

定員

400名（先着順）

締切：令和5年9月20日（水）

申込

往復はがき往信面に講座名、代表者を含む5人までの氏名、代表者の住所、電話番号、返信面にご自身の宛先を明記し、〒300-1592生涯学習課 市民大学特別講座「健康づくりの公衆衛生的アプローチ」係宛てに郵送か、専用申込フォームからお申し付けください。

専用申込フォーム

